

桐生駅北口駐車場跡地の有効活用について（新規）

令和6年3月31日に営業終了となった桐生駅北口駐車場跡地ですが、現在利用はされておられません。

駅前には、交通や商業、地域性が交差する重要な場所であり、その利用目的に応じて多様な施設やサービスが集まり、日常生活の一部として機能する場所であり、利用促進が図られていないことは桐生市経済にとって損失であると考えます。

駐車場跡地は、地域住民の憩いの場の創出や子育て支援、にぎわい創生など様々な活用方法があります。そのために民間から活用方法を募集してJR東日本と調整することを要望いたします。

桐生市からの回答

JR桐生駅北口駐車場跡地につきましては、現状、各種イベントの開催や駅周辺におけるイベント等の臨時駐車場としての暫定利用に留まっており、ご指摘のとおり、本格的な利活用には至っておりません。

JR桐生駅は、通勤・通学や観光などで鉄道を利用される方をはじめ、駅構内や周辺施設のサービスを利用される方もいらっしゃることから、交通結節点としての役割はもとより、まちの活性化やにぎわい創出に大きな影響を与える重要な場所として、有効活用が望まれていることは認識しております。つきましては、本市といたしましても、所有者であるJR東日本の意向を確認しつつ、貴所とも連携を図りながら、ご提案の市民や日常の駅利用者、民間事業者など皆様からの活用方法の募集等、多くの声を取り入れることに努め、より利便性の高いJR桐生駅北口駐車場跡地の利活用案を市としてまとめてまいりたいと考えております。

[回答担当] 企画課大学連携・教育都市推進担当